

【令和6年度 学校評価】

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>①自主自律の意識を向上させ、学習活動・生徒会活動・部活動に主体的に取り組ませる。                  ②学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業改善を進めるとともに ICT 機器の効果的な利用方法や観点別評価について研究を深める。                  ③ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業を推進するとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の視点をもって国際理解教育を推進する。                  ④学校生活全般の様々な指導を通して、自他の生命の尊重と規範意識の高揚を図る。                  ⑤それぞれの目線でとらえた生徒の情報を共有することで、生徒に対する、より多面的で深い理解を得よう努める。                  ⑥勤務時間を適切に管理し、業務の適正化を図るとともに教職員のメンタルヘルスの保持と健康障害の防止に努める。</p>		
<p>項目（担当）</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>学校行事 （総務課）</p>	<p>*デジタル化の推進 *持続可能な PTA 活動の推進</p>	<p>*QR コードを利用した出欠確認など研究する。 *職員・PTA・同窓会との連絡を密にして意見を集約、調整する。</p>	<p>*文書とデジタルそれぞれの長所を踏まえ、どちらを活用するか見極めながら実施する。  *見直しの際は、PTA 会員とのコミュニケーションを大切にしながら丁寧に進める。</p>
<p>安全 （総務課）</p>	<p>*実効的な防災訓練の実施</p>	<p>*避難訓練や防災教育等を計画的に実施する。 *北一社学区の自治会と連絡をもち、万一の場合、意思疎通ができるようにする。</p>	<p>*大学での先進的な研究、他校での実施事例を元に実施計画を策定する。</p>
<p>学習指導 （教務課）</p>	<p>*授業改善に継続して取り組む。 *調査・発見・問題解決型の学びの機会を増やす。</p>	<p>*生徒の興味を引き出す授業を行う。  *発見学習・問題解決学習・調査学習など参加型学習を授業に取り入れる。  *授業公開と参観を推進する。</p>	<p>*生徒において主体的・対話的で深い学びが成立するために、教科内容に関する研究を進めるとともに生徒の学習過程のきめ細かな理解を図る。 *総合的な探究の時間に調査・発見・問題解決型の学習活動の発表会を行う。 *授業改善につながる教員間の意見交換の機会として活用できるように研究授業などを実施しやすい環境を整える。</p>
<p>生徒指導 （生徒課）</p>	<p>*自己を律する力を身につけさせ、規範意識を高めさせる。  *社会の状況に見合った校則の再検討。</p>	<p>*遅刻を減らし、基本的な生活習慣を確立させる。 *身だしなみの意識を高めさせる。 *人権に対する意識を高めさせる。 *情報モラルの意識を高めさせる。 *生徒会活動・学年との連携を深める。 *服装や規則に関する校則について、再検討する。</p>	<p>*生活委員と協働し、遅刻の減少に声掛けをつづける。 *私服との併用期間を設置し、生徒の様子を観察しながら検討を進める。</p>
<p>特別活動 （特活課）</p>	<p>*生徒会・部活・行事等の各活動を通して生徒の成長につなげる</p>	<p>*学校全体で取り組む姿勢を育めるよう、室長等のリーダーたちと連携を深める。 *縦割り LT を通じて学年を超えた生徒同士のつながりを強める。 *各委員会・各部活動の目標・課題を共有させる。</p>	<p>*行事運営・活動は生徒が行っていることを再認識させる。 *情報の交換ができる体制を整える。</p>
<p>進路指導 （進路課）</p>	<p>*キャリア教育を推進する。</p>	<p>*キャリア教育を推進する。 *実力考査のあり方と資料の充実を図る。 *2年次の学習意欲の低下を防ぐ。 *校外模試の有効利用を図る。</p>	<p>*学年会との協力関係を強化する。 *2年次の学力低下を防ぐ。 *第1志望校進学を見据えた進路計画を立てる。</p>
<p>学校保健 （保健厚生課）</p>	<p>*生徒の健康観察の徹底。スクールエンジンの活用。 *教育相談の充実  *校内美化、清掃活動の充実</p>	<p>*学校生活において生徒が健康的に過ごすことができるように支援する。  *SC や外部との連携も図りながら生徒の精神的不調にチーム対応を行う。 *清掃活動の充実を図る。</p>	<p>*スクールエンジンを効果的に活用し、遅刻、欠席、早退等の把握を行う。 *生徒、保護者共に SC の存在を周知し、各関係分掌、学年会と連絡、連携を密にとる。 *各分掌や学年と連携し校内美化に努める。 *長寿命化工事に伴う廃棄物品の処理を促進する。</p>
<p>図書指導 （図書館課）</p>	<p>*改修工事時の本や本立て等の円滑な移動  *進路室工事中などでの書籍や学習室等使えないときの生徒への不便を減らす工夫をする。</p>	<p>*改修工事時の本や本立て等の円滑な移動と、進路室工事中などでの書籍や学習室等使えないときの生徒への不便を減らす工夫をする。 *古い蔵書の廃棄を進める。 *視聴覚教室の積極的な整備を行う。</p>	<p>*大量の本を、梱包ラップと段ボール箱の併用により円滑で安全に移動できた。 *他教室の備品置き場となり、蔵書点検ができなくなったため廃棄も進んでいない。 *視聴覚室は、講演会、探究活動などに利用され「使用の仕方」を掲示したこともあり、円滑な</p>

<p>国際理解教育 (国際課)</p>	<p>*SDG s に学校全体で取り組み、国際理解教育・国際交流を推進する。</p> <p>*WWL 事業が円滑かつ効果的に実施されるよう工夫する。</p> <p>*国際教養科の充実・発展を図る。</p>	<p>*国際理解を深めるための啓発活動(国際課通信 ChigUNESCO の発行、留学体験報告など)を継続して行う。</p> <p>*国際理解講演会、異文化講座など国際課が主催する行事の一層の充実を図る。</p> <p>*留学生の受け入れを積極的に行う。</p> <p>*海外進学や留学、海外への派遣事業などの情報を伝達し、希望する生徒への支援を行う。</p> <p>*外国人講師との連携を密にし、国際教養科の授業内容を一層充実したものにしていく。</p> <p>*「グローバル探究」の円滑な実践と研究を推進する。</p>	<p>利用であった。</p> <p>*国際教養科の特色や国際課が主催する行事の意義について説明し、学校全体の理解・支援を得るよう努める。</p> <p>*外部講師による講義を行う際には、生徒の事前・事後の学習をしっかりと行い学びの大きいものにしていく。また、講師との打ち合わせを十分行う</p> <p>*留学生との交流会や国際会議が円滑に進められるよう、大学との連携強化を様々な方面に願う。</p>
<p>いじめ防止基本方針に基づく取組</p>	<p>年に2回実施する学校迷惑調査や日常の観察により、全職員でいじめのサインを見逃さない環境づくりに努める。適宜、いじめ防止対策委員会を設け、いじめの未然防止に努める。</p> <p>ホームルーム活動においても、担任からの声掛けにより、生徒が主体的にいじめについて考える機会を設ける。また、全校集会等でも、いじめに関する講話を実施する。</p>		
<p>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止に関する取組</p>	<p>職員会議のペーパーレス化等により、勤務時間を適切に管理し、業務の適正化を図るとともに教職員のメンタルヘルスの保持と健康障害の防止に努める。</p>		
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>	<p>①学校の自己評価に関すること ②学校の教育目標や将来像に関すること ③生徒の健全育成に関すること</p>		
<p>総合評価</p>	<p>①コロナ感染が少しずつ収まり活動制限が緩和される中、学習活動・生徒会活動・部活動に主体的に取り組ませることができた。</p> <p>②新学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業改善を進めるとともに ICT 機器の効果的な利用方法や観点別評価について研究を深めることができた。</p> <p>③WWL コンソーシアム構築支援事業を進めるとともに、SDGs (持続可能な開発目標) の視点をもって国際理解教育を推進できた。</p> <p>④学校生活全般の様々な指導を通して、自他の生命の尊重と規範意識の高揚を図るよう努めた。</p> <p>⑤職員間で連携を図り生徒の情報を共有することで、生徒に対する、より多面的で深い理解を得るよう努めた。</p>		